

交野市教委ニュース

第88号 (平成30年2月5日発行)

市内小・中学校で実践発表を行いました

1月31日(水)星田小学校で、2月1日(木)には第四中学校で、それぞれ公開授業があり、その後、講演会や研究発表会が実施されました。星田小学校は、平成28年度から「大阪府道徳教育推進事業」の指定校となり、「特別の教科 道徳」の全面実施に向けて先進的な取組みを学校全体で研究してきました。第四中学校は、府下の中学校で『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた実践研究に指定された2校のうちの1校として、全校一丸となって取組みを進めてきました。

星田小学校

2年「ぶらんこ」(友情 信頼)



4年「本当の思いやり」(親切 思いやり)



5年「道案内」(親切 思いやり)



公開授業は、2年生・4年生・5年生の1学級ずつで行われました。ホワイトボードやワークシートを活用して、まずは自分の考えをしっかりと書き、その考えをペアやグループで積極的に話し合うことで、さらに考えを深めていました。

道徳教育推進教師による研究報告



講演『特別の教科 道徳』の指導と評価について



全校での取組み紹介コーナー



星田小学校での2年間の取組みやその成果を詳しく報告されました。その後、四天王寺大学准教授 杉中康平先生に、授業づくりの基礎・基本から道徳科の評価に至るまで、具体例を示しながら多くのご示唆をいただきました。

第四中学校



前半の公開授業は、1・2年生全教室の公開でした。どのクラスでも、生き生きと主体的に授業を楽しんでいる子どもたちの姿が見られました。廊下の掲示物もこれまでの授業や学びの様子が分かるものが多く掲示されていました。

交野市内だけでなく、府内から100名近い教職員や他の教育委員会の方々が参加されたので、体育館での授業となりました。



慣れない環境の中ではありますが、生徒はいつも通り集中して授業を受けていました。最後に、事業の担当者である三輪教諭より、研究実践発表として授業事例や「チーム四中」としての学校の取組みが報告されました。